

心のデトックス! メディアで紹介された『泣ける』作品

照英さんが泣いた!?

インターネットテレビ「Abema TV」の番組「照英を泣かそう」で、「小さな親切」運動本部発行の「涙がとまらないすてきな物語」収録作品4編が、朗読されました。この番組は、涙もろいことで有名なタレントの照英さんを泣かせるため、声優さんが感動エピソードを紹介する番組で、6月11日(日)・18日(日)に配信されました。その中から、6月18日の放送で取り上げられた作品を紹介します。

[番組名]

「照英を泣かそう」

今後も、作文コンクールを題材にした番組が企画されています。

ありがとうの花束

熊本県・古場美幸



友人が大学受験に失敗し、浪人することを決めた。

彼女は、高校3年間、バレエ部と一緒にがんばってきた仲間だった。土日も含めて、ほぼ毎日のように顔をあわせてきた仲間だ。

一年後、「彼女は、また大学受験に失敗したらしいよ」と別の友人から聞いた。

その頃の私は、楽しい大学生活を満喫している真っ最中。彼女とは全く別の世界にいた。

予備校に通っている彼女のことは、時々頭に浮かんでいたが、どんどん疎遠になっていった。

そして、さらに一年後、私の通っている大学に彼女が入学してきた。本当に嬉しかった。しかし、キャンパス内で偶然に会うことはあったものの、お互い違う友達に囲まれていた。私の卒業式。式を終えて外に出ると、花束を抱えた彼女がいた。

「私が2回目の受験をする時に、手紙といっしょに送ってくれた合格祈願のお守りのお礼だよ。あんたが卒業するとき、絶対に花束を渡そうと決めていた」と、彼女は言った。

彼女宛に手紙を書いたこと、お守

りを贈ったこと、そんな事实は、私の記憶からすっかり抜け落ちていた。でも、その時の思いを「かたち」にして良かった、と心から思った。そして、彼女の感謝の気持ち、花束という「かたち」になって返ってきたことに感激した。

彼女の卒業式には、「花束」を持って出かけた。

私は、思いを伝えることの大切さを知っている。そして、その思いは必ず相手に届くことも知っている。相手を思いやる気持ち、感謝の気持ち、気持ちをいつも忘れずに過ごしていきたい。

その思いは、お互いに永遠に繰り返されて絆となっていく。



「涙がとまらないすてきな物語」(河出書房新社刊)
1,296円(税込)
※会員・地域組織の方は20%OFFになります。
中央本部までご連絡ください。

書籍紹介